

第38回国連CEFACT Forum の報告

国連CEFACT観光部会

鈴木報告

2022年5月26日

1. 概要

(1)開催期間

1)第38回国連CEFACTフォーラム 5月16日(月)~5月20日(金)

① T/T Domainは5月16日に開催された。

② EPs TAの開発最終段階の状況と今後の対応、およびSTプロジェクトの進捗状況とJTRECで検討中のSelf-evaluation systemについて報告 (後段の報告は板垣氏がT/T DomainのSTプロジェクトのEditorの立場で行った。)

③UNWTO から初めての参加がありUNWTO とSDGsの取り組みに関して講演があった。

(Ms Natalia Bayona, Director for Innovation, Education and Investment)

④ Gerhard Heemskerk氏より、RDMとAPIに関する技術講演があった。

2)Pre-forum domain working meetings 5月9日(月)~5月13日(金)

T/T Domainは下記のように開催された。

a. Experience programs technical artefacts project finalization 5月10日(火)

この中でUse cases to promote EPs Technical Artefactsの一つとして、堀田氏より日本の実施例が紹介され活発な意見交換があった。

b. Sustainable tourism business standards project discussion 5月11日(水)

この中で、JTRECで検討しているSelf-evaluation systemについて、中込、板垣各氏より報告があった。

c. New project proposals 5月12日(木)

2)開催方法

① オンラインの開催 (Webexの利用)

② 両会合とも参加者が多く活発な意見交換ができた。JTRECからの参加者も多くあった。